## 2022 年合格目標 司法書士講座

## 全国実力 Check 模試 受験者特典動画資料

「記述式が苦手だけれども今からなんとかしたい」方向け 姫野講師による記述式ワンポイントアドバイス

> ※この資料は、全国模試を受験されて答案を提出された方を対象とした「受験者 特典動画」用の資料です。

> > 無断複製 (コピー等)・無断転載等を禁じます。



## 1 不動産登記法

不動産登記法の記述式問題は、(1)依頼、(2)問い、(3)事実関係に関する補足、(4)【添付情報一覧】、(5)不動産情報、(6)登記の原因となる事実又は法律関係(【事実関係】、〔聴取した内容〕、別紙)、(7)答案作成に当たっての注意事項から構成される。

ここでは、(1)から(7)までの項目を検討するに際しての留意点を提示する。

(1) <b>依頼</b> □ 登場不動産, 依頼不動産の確認 □ 申請回数と申請回数ごとに使用する情報の整理 □ 依頼者 □ 申請代理の有無
(2) <b>問い</b> □ 答案不動産の確認 □ その他答案用紙記載事項 □ 特殊な問い
(3) <b>事実関係に関する補足</b> □ 事前情報との整合性 □ 独自情報の有無及びその内容
<ul><li>(4) 【添付情報一覧】</li><li>□ 種類ごとの分類</li><li>□ 登記原因証明情報からの申請すべき登記の予想</li></ul>
(5) <b>不動産情報</b> □ 農地か否かの確認  □ 根抵当権の元本の確定の有無の確認  □ その他の登記記録の記録からの論点喚起
(6) 登記の原因となる事実又は法律関係(【事実関係】,〔聴取した内容〕,別紙)  □ 知識を当てはめることによる登記事項の抽出  □ 答案作成作業を前提とした論点検討作業
<ul><li>(7) 答案作成に当たっての注意事項</li><li>□ 事前情報との整合性</li><li>□ 独自情報の有無及びその内容</li></ul>

## 2 商業登記法

商業登記法の記述式問題は、(1)依頼、(2)問い、(3)答案作成に当たっての注意事項、(4)申請会社情報、(5)別紙(定款、各種の議事録等)、(6)司法書士の聴取記録から構成される。 ここでは、(1)から(6)までの項目を検討するに際しての留意点を明らかにする。

(1) <b>依頼</b> □ 申請回数と申請回数ごとに使用する情報の整理 □ 申請代理の有無
(2) <b>問い</b> □ 登記不可事項の出題の確認
(3) <b>答案作成に当たっての注意事項</b> □ 事前情報との整合性 □ 独自情報の有無及びその内容
(4) <b>申請会社情報</b> □ 逆張りの視点による登記記録の記録からの論点喚起 □ 役員変更検討用のタイムチャートのフォーマット作成
(5) <b>別紙 (定款, 各種の議事録等)</b> □ 知識を当てはめることによる登記事項の抽出  □ 答案作成作業を前提とした論点検討作業 (特に添付書面関係)
(6) <b>司法書士の聴取記録</b> <ul><li>□ 決議以外の手続の適法性の確認</li><li>□ 全申請回数を通じての情報消費</li></ul>